参考資料４

圏域観光魅力向上推進事業概要一覧

圏域	事業概要
大河原	1　宿泊型観光モデルコースの造成（観光コース案の制作） ・ニーズ調査等の分析による観光モデルコースのテーマ・ターゲットの設定 ・新たな早朝・夜間コンテンツ等の造成や映えスポットの発見・活用、既存コンテンツの再評価等の実施 ・観光関係者及び市町からの意見集約 ・周遊・宿泊につながる観光モデルコース案の作成 2　インバウンド向け情報発信事業（PR媒体の制作） ・観光パンフレットのダイジェスト版を外国語で製作し、本県WEBサイトにも掲載
仙台	1　食や酒のツーリズム造成 ・圏域内の食関係事業者、酒蔵、宿泊事業者等と連携し、個々に存在する観光資源を点から線へストーリー化することにより、滞在時間の延長及び宿泊への誘導に向けた実証を行う。 2　体験コンテンツの高付加価値化・創出 ・既存の体験コンテンツについて、更なる磨き上げを行い付加価値を高めるとともに、地域の特色を活かした新たな体験コンテンツの創出を図る。また、ガイドの現状把握等も併せて実施する。
大崎	1　夏季「アクティビティ・宿泊誘導型コンテンツ」及び冬季「アクティビティ・温泉滞在型コンテンツ」の造成、モニターツアー 2　古川駅等と体験フィールド・宿泊地とを結ぶ移動手段を整理した周遊プランの設計 3　集客・販売事業者、宿泊施設、アウトドア体験事業者、ガイド等の役割分担を明確化 4　観光関連の収益が大崎地域内を循環する仕組みづくり 5　陸羽東線の駅からレンタカーやレンタサイクルを利用した移動及びデマンド交通運行による移動を試験実施 6　大崎地域内の観光・周遊に関する情報発信
栗原	1　栗駒山及び内沼・伊豆沼などの魅力ある観光資源や栗原地域のイベント、食等の観光コンテンツを体験できる二次交通を組み合わせた旅行商品の企画、販売、運営を行うこと（合計８本程度）。 2　くりこま高原駅周辺でナイトコンテンツ化可能な酒や食をテーマとした新たなイベント（酒フェス）の開催及びイベントへの参加・送迎・宿泊を含むプランの造成・販売 3　上記１、２に係る地域観光プロモーション、データ収集・分析の実施
石巻	1　石巻圏域インバウンド戦略構築・発信基盤整備事業 ・ターゲット市場分析（国・地域、旅行目的、消費傾向等） ・海外向けプロモーション素材の収集・制作 ・素材データベースの整備 ・海外向け発信の開始 2　石巻圏域ゲストガイド整備事業 ・宿泊施設客室内に設置する圏域共通のゲストガイドを制作・配布等
登米	1　コンテンツ磨き上げ事業 ・宿泊に繋がる早朝コンテンツの磨き上げを実施。 ・早朝の「マガン飛び立ち」等を宿泊を伴うプレミアムな体験へ昇華させ、市内の宿泊需要と経済波及効果を創出する。 2　登米圏域観光プロモーション事業 ・登米市の観光ブランド（食・観光）をターゲット層へ浸透させ、旅行予約（宿泊・体験）へ繋げる循環を創出する。 ・ターゲット層に向けた効果的な広報や素材作成を実施。
気仙沼	1　みちのく潮風トレイルを活用した当圏域の魅力発信ツアーの開催 ・みちのく潮風トレイルのセクションコースを活用し、トレッキングに加え、学ぶ・遊ぶ・食べるの各コンテンツを組み合わせた、トレッキング初心者向けのツアーを開催することで、気仙沼・本吉圏域の魅力を広く発信する。 ・ツアーは１泊２日を基本とし、定員は20～30名程度で４回程度開催する。 ・管内までの移動は、JR仙台駅発着の貸切バスとする。 2　半造レストハウスを拠点とした情報発信強化事業 ①　ハイカー等旅行者からの直接又はWhatsApp等による問合せ対応 ②　①の対応に係る当圏域等の各事業者等との連絡調整 ③　情報発信用掲示物等の作成